

平成27年度第2回
所沢市青少年問題協議会

会 議 録

平成28年1月26日

会 議 録

| | |
|-------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 平成27年度 第2回所沢市青少年問題協議会 |
| 開 催 日 時 | 平成28年1月26日(火) 午前10時から11時30分 |
| 開 催 場 所 | 市役所6階604会議室 |
| 出 席 者 の 氏 名 | 別添名簿のとおり |
| 欠 席 者 の 氏 名 | 別添名簿のとおり |
| 説明者の職・氏名 | |
| 議 題 | (1) 三つ葉の提言の見直しについて(公開) (2) 意見交換 「子ども・若者対策について～子どもの貧困・引きこもり・ニート・SNS問題～」(公開) (3) その他(公開) |
| 会 議 資 料 | 次第 資料1 所沢市子ども・若者支援ガイド 資料2 所沢市優良青少年及び青少年健全育成成功労表彰規程 三つ葉の提言小冊子 |
| 担 当 部 課 名 | こども未来部 本田部長、及川次長 青少年課 井上課長、三上主査、佐藤主査、宮崎主事 (事務局) こども未来部青少年課 電話 04(2998)9103 |

所沢市青少年問題協議会委員名簿

* 名簿掲載順は設置条例第3条の第4項(1)～(5)号の委員の順になっています。

| | 役職 | 氏名 | 出欠 | 職名等 |
|----|----|--------|----|----------------------|
| 1 | 会長 | 藤本 正人 | 出席 | 市長 |
| 2 | 委員 | 宮下 幸枝 | 欠席 | 一般公募 |
| 3 | " | 大野 礼子 | 出席 | 一般公募 |
| 4 | " | 藤吉 律子 | 出席 | 一般公募 |
| 5 | " | 小暮 香代子 | 欠席 | 一般公募 |
| 7 | " | 神山 さゆり | 出席 | 一般公募 |
| 8 | " | 本橋 栄三 | 出席 | 所沢市社会福祉協議会会長 |
| 9 | " | 赤嶺 哲也 | 欠席 | 所沢市PTA連合会副会長 |
| 10 | " | 大塚 教雄 | 出席 | 埼玉県立高等学校長(所沢中央高等学校長) |
| 11 | " | 田部 真一 | 欠席 | 所沢市社会教育委員会議長 |
| 12 | " | 秋葉 義男 | 欠席 | 所沢市民生委員児童委員連合会会長 |
| 13 | " | 針生 康二 | 欠席 | 所沢市子ども会育成会連絡協議会会長 |
| 14 | " | 須澤 一男 | 出席 | 所沢市スポーツ少年団本部長 |
| 15 | " | 山路 洋子 | 出席 | 所沢市連合婦人会会長 |
| 16 | " | 田中 保三 | 出席 | 所沢地区保護司会所沢三芳支部支部長 |
| 17 | " | 渡辺 昭子 | 出席 | 所沢市青少年育成推進員協議会会長 |
| 18 | " | 並木 聡美 | 欠席 | 所沢市青少年相談員協議会会長 |
| 19 | " | 青木 照子 | 欠席 | 所沢地区更生保護女性会会長 |
| 20 | " | 土屋 由 | 欠席 | 知識経験者(秋草学園短期大学) |
| 21 | " | 吉川 隆二 | 出席 | 所沢警察署長 |
| 22 | " | 広瀬 正幸 | 出席 | 所沢児童相談所長 |
| 23 | " | 内藤 隆行 | 欠席 | 所沢市教育委員会教育長 |

様式第 2 号

| 発 言 者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|--|---|
| 議長 事務局 議長 委員 委員 委員 | <p>1 開 会</p> |
| | <p>傍聴希望者の入場。</p> |
| | <p>2 会 長 藤本正人市長よりあいさつ</p> |
| | <p>青少年問題協議会設置条例第 6 条 2 項により会長が議長を務める。</p> |
| | <p>3 議 事</p> |
| | <p>【議事 1】三つ葉の提言の見直しについて</p> |
| | <p>議長 議事（ 1 ）「三つ葉の提言の見直しについて」事務局より説明を求める。</p> |
| <p>事務局 三つ葉の提言については、本協議会により作成されてから 1 0 年が経過している。前回の会議において、内容の見直しが必要との意見があったため、これを契機に見直しを図り、多くの方々に発信していきたい。</p> <p>特に「地域力」「世代間交流」「大人のモデル」「貧困問題」などをキーワードに、より具体的な行動内容について、意見をうかがいたい。</p> | |
| <p>議長 三つ葉の提言がより良いものになるよう、意見を求める。</p> | |
| <p>委員 小冊子 5 ページの内、「 お父さん、出番ですよ」について、この提言の作成当時と比べ、父親の育児参加が増えてきていること、またその反面、離婚件数が増加し、一人親で頑張っている保護者も増えていることから、この項目についての見直しが必要と感じている。</p> | |
| <p>委員 全体的な話として、学校・家庭・地域の表記の順番について、もう少し統一性を図った方が良いかを感じる。</p> | |
| <p>委員 先程の意見にもあった「お父さん、出番ですよ」の内、「ですよ」の表現が他の表題と比べ目立っている。これも含め、この項目の検討が必要と感じる。</p> | |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>小冊子2ページの内、「 - 家庭での道德教育を実践しよう」は「 家庭のあり方をもう一度見つめなおそう」の小項目に入るものではないか。</p> |
| 委員 | <p>小冊子3ページの内、三つ葉の円（学校・家庭・地域）が描かれ、その外に3つのテーマが書かれているが、その内「子どもの生きる力を信じて夢を与えよう」については、どの3つにも当てはまると感じることからレイアウト的な面も含め、微調整が必要であると感じる。</p> |
| 委員 | <p>小冊子3ページの内、上から3段目に「地域・家庭・学校の連携を深めよう。」と副題のように書かれている中、四つの行動目標の でも同じことが書かれているが、何故この文だけ重複して記載しているのか、検討が必要と感じる。</p> |
| 委員 | <p>学習要領が改訂されているため、標記の仕方など修正や微調整が必要と感じる。</p> |
| 委員 | <p>全体的な話として、もう少し短いと良いかなと感じる。</p> |
| 委員 | <p>先程、意見のあった学校・家庭・地域の表記の順番の検討について、子どもが生まれて一番最初の集団、ひとつの単位が家庭であるため、まずは家庭でその後に学校や地域になるのかなと感じた。また、この提言が広く周知されると更に良いと感じる。</p> |
| 委員 | <p>この10年間での社会変化の内、特にネット社会が大きく変わったと感じている。本提言にはネットに関する項目が無いので、子どもに対するスマートフォンの与え方や使い方などを追加してはいかがか。</p> |
| 委員 | <p>小冊子11ページの内、「 積極的な地球環境の浄化に努めよう」については、この10年間で「捨て看板」や「ピンクチラシ」もほぼ見かけなくなったため、内容を少し変えても良いのではないか。</p> |
| 副会長 | <p>先の意見で、昔は青少年の関係団体と共に市内の環境浄化に努めていた。また、家庭も地域も学校もどれが一番ということではなく、無我夢中で活動していた。</p> <p>時代は大きく変わっており、今後、この提言についてより良いものになるように修正していけば良いと思う。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 三つ葉の提言はどれくらい認知されているのか。 |
| 事務局 | ここ数年は大きく周知はしていないと思われる。今回の見直しを図った後、大々的に周知すべき方法を模索していく。 |
| 委員 | 児童館などから大々的に発信してみてもいいかがか。 |
| 委員 | 青少年育成所沢市民会議が全児童に配付している広報紙「わかたけ」で紹介してみてもいいかがか。 |
| 委員 | 地域の市民も知るべきなので他の方法も検討してみてもいいかがか。 |
| 委員 | 以前はPTA連合会でこの提言を扱っていた。各地域の部会などで活用してみてもどうか。また配信はしていても、どこまで浸透しているかも重要である。 |
| 委員 | 高齢化でお年寄りの役割も重要であることから「おじいちゃん、おばあちゃん出番ですよ」のような内容を追加してもいいのではないか。 |
| 議長 | <p>これまでの意見をまとめると5点になるかと思う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．地域、家庭、学校の表記の順番について、小冊子全体として整合性が必要。 2．学習要領改訂による内容との整合性のチェックが必要。 3．まちの環境整備が整えられていることから、違った捉え方による記述が必要。 4．ネット社会については、追加項目とする。 5．「お父さん出番ですよ」の部分で高齢者の方の出番も含め、検討が必要。 <p>その他に意見あるか。</p> |
| 委員 | 仕事などで忙しかったり、育児で大変な思いをしている方に読んで欲しいと願うならば、イラストや四コマ漫画などを入れると良いと感じる。 |
| 議長 | これまで意見として出された三つ葉の提言の内容の見直しについて、事務局としてはいつまでに出来ると良いのか。 |
| 事務局 | 現在の委員さんの任期があと1年あり、会議も2回は開催できるので、任期中 |

| | |
|-----|---|
| | にまとめていきたい。 |
| 委員 | 本議題の後、意見交換がある。この意見交換も踏まえ三つ葉の提言の内容見直しに反映させてはどうか。 |
| 議長 | 事務局としては、議題2について、ある程度示す情報で意見をうかがうのか、それとも自由な意見交換とするのか。 |
| 事務局 | 意見については、今回は自由な意見をいただき、内容によっては三つ葉の提言の見直しの内容に盛り込むであろうと想定している。 |
| 議長 | 資料はあるか。 |
| 事務局 | 資料1のとおり、「子ども若者支援ガイド」はあるが、本日出席されている委員の皆さまが普段から感じていることのご意見をいただきたい。 |
| 議長 | 承知した。それでは先程ご意見のあったとおり、議題2の意見交換の内容も三つ葉の提言の内容の見直しに反映させる形で進めていく。 それでは一つの区切りとして、次回の会議では、まず議題1で焦点となった5点に絞りつつ、この後の意見交換も含め、皆さまより改めて意見をうかがう。 |
| 議長 | 【議事2】意見交換 次の議事に移る。議題2 子ども・若者対策について、事務局より説明を求める。 |
| 事務局 | 昨今の青少年に関して、いじめや不登校、ニートや引きこもりなど、様々な問題が生じていることから、昨年度、資料1の「子ども・若者支援ガイド」を作成し、周知を図っている。 本日は、委員の皆さまが日頃より地域で感じられていることや、日常の活動を通じて、何か青少年に関する問題や対策があれば意見をうかがいたい。 |
| 議長 | 子どもの貧困、引きこもり、ニート、SNS問題などについて、何か意見はあるか。 |

| | |
|----|--|
| 委員 | S N S問題について、現在、学校で行っている案件や対策があれば知りたい。 |
| 委員 | <p>高等学校での対策になるが、現在、県で行っているネットパトロールがある。また、学校独自として、校長については、全校集会などの機会を経て、また生徒指導の主任については、年に5回、1回につき1時間程度の指導を行っている。</p> <p>特にLINE等について、書き込む側は意外と安易な気持ちであるにも関わらず、受け取る側がどう受け止めるかで大きく事案が変わるといった観点から指導している。</p> |
| 委員 | <p>昨今の情報や現状として、ツイッターで氏名や住所、顔写真など何でも自分自身をさらけ出す人が増えている。我が子に関しても注意喚起はしているが、限度があり、心配である。</p> |
| 委員 | <p>ツイッターはもしかすると世界中の人が見ることができる。</p> |
| 委員 | <p>そこが非常に怖いところである。いつでもどこでも書き込みが自由、そして拡散していくと大変なことになる。といったことが分からないまま使い始めるのが実態。親の使いわせ方が大事、親が知って使いわせるのが良いと感じる。</p> |
| 委員 | <p>子どもの内から丁寧にS N S問題を教え、知識を持たせることが重要と感じる。また、持たせた後、どうコントロールするかも重要である。</p> |
| 委員 | <p>親が新しい機種を購入すると、それまで使っていた機種を子どもに与えてしまうといったケースもある。また塾などを通うにあたり、ナビやGPS機能があり便利ではあるが、それを正当化してしまい、肝心な使用方法や注意点の喚起が欠けるケースも見受けられる。</p> |
| 委員 | <p>子どもの貧困についてうかがいたい。</p> |
| 委員 | <p>今、16.5%、すなわち6人に1人の子どもが貧困と言われている。貧困とは、生活保護またそれに準じた生活水準の方々である。</p> <p>現在、アウトリーチといって賞味期限内の食品を配付しながら家庭に出向き、そこで何が問題になっているのかを聞き、問題解決を図っている。その結果など</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>を踏まえ、就労支援や教育支援を行っているところである。</p> <p>また、こども食堂を開き、そこに参加された保護者と会話をしながら、家計の相談などを聞く活動も行っている。</p> |
| 委員 | <p>貧困について、子ども達にもっと何かしてあげられることはないか。</p> |
| 議長 | <p>貧困の連鎖を防ぐために、現在市では、生活保護世帯またそれに準ずる中学校3年生生徒を対象に市役所で勉強の場を提供している。</p> <p>また、地域の大人が子ども達に何かを教えてあげられる「地域の力」も必要であると感じている。</p> |
| 委員 | <p>三食を満身に食べられない子ども達を支援できないか。</p> |
| 委員 | <p>多くの子ども達を見てきて、また保護者との繋がりも多くある中で、人命にかかわるような貧困に陥った世帯を救済するような術がなかなか見つからない。何か良い方法はないか。</p> |
| 議長 | <p>子どもの貧困とは、経済的な貧困だけのことなのか。</p> |
| 委員 | <p>経済的な貧困ばかりではない。夫婦間によるトラブル、離婚に至って片親で育てるといった経緯から親が夜に働くなど、子どもと向き合えない家庭にどうやって向き合うのが課せられていると思う。</p> |
| 委員 | <p>子どもに関しては、学校の他にスポーツなどを通じて、地域に出ることも重要であると感じている。そこで大人が何かを発見、察知することができるのではないか。</p> |
| 委員 | <p>非行の原因は、家庭にありとよく言われているが、自身の家庭での育て方が本来少しずれていても、正当化していたり、根本的に分かっていない世帯が隠れていたり、周りが気付かないような社会になっているように思える。</p> <p>そのような家庭の内、地域に出てこない世帯をどう把握するかが問題である。</p> <p>また、青少年を健全に育てる環境の極端な例として、児童相談所のような一時的な施設はあるが、時には、生活が乱れている親元に帰すよりも成人までしっか</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>りと預けられる居場所、すなわち施設も必要になってきているのではないか。</p> <p>問題が起きてから気づくのではなく、事件や事故を未然に防ぐため、いかに子どもをしっかりと見守れる環境が作れるかが重要と考える。また問題を抱える家庭に入り込み、解決を図ることも必要であろうが、難しい問題である。</p> |
| 委員 | <p>子どもを家庭から離さなければならないケースもあるが、その手前で行政をはじめ、地域で目を光らすことも大事である。</p> <p>人は地域で生活することが大事。地域で出来ることを考えていくことが重要である。</p> |
| 委員 | <p>モラルが一番大事であると感じている。人は後になって教え込もう、付け加えていこうとしても難しいもの。また、他人と競争して勝つ術を教えるのではなく、まずは、いかに自分自身に勝つかのほうが重要である。</p> <p>問題が発生した時、ある程度、金銭で解決出来る部分はあるが、やはり根本にはモラルの問題が大きく占めると思う。</p> |
| 委員 | <p>民生委員は、高齢者や子どもに関して少し踏み込んで活動されていると思うが、貧困についての察知はできるか。</p> |
| 委員 | <p>民生委員はそういった活動をしているが、最近は、支援が必要と思われる世帯に限って、そのような活動を拒否する家庭が増えている。民生委員、児童委員には守秘義務があるが、本人の同意も必要、それ故でも一切入り込めない状況がある。それでも子どもの貧困やニートなどの問題を把握できるのは地域であり、地域の力が有効である。</p> |
| 議長 | <p>ネットの問題、また子どもの貧困について意見をいただいた。難しい問題であり、徐々に問題や現状を把握しづらくなっている。それでも、何とか問題解決に向かっていかなければならない状況であることが分かった。</p> <p>それでは、議事1及び議事2でいただいたご意見を事務局で精査し、このテーマでまた次回会議を迎えたいので、よろしくお願ひしたい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 議長 | <p>【議事3】その他</p> <p>議事3その他について、事務局より説明求める。</p> |
| 事務局 | <p>次回の会議は5月30日頃を目途に開催を検討している。また、その内容については、優良青少年及び健全育成成功労者表彰の選考と三つ葉の提言の見直しを予定している。</p> <p>なお、表彰の件に関しては、毎年4月頃に委員の皆さまに推薦依頼をする予定であり、もし所属団体や地域に戻られてから表彰に相応しく、また目新しい活動をしている青少年や団体、その他、登下校時の児童の安全を図っている方々を把握していれば推薦をいただきたい。</p> |
| 議長 | <p>全ての議事を終了とする。</p> <p>以上をもって、平成27年度第2回所沢市青少年問題協議会を終了した。</p> |